

14 第二部商経学科教養科目
(外国語科目)

授業科目	英語 I (A)	担当者	米村 大輔
	[履修年次] 1年, 2年, 3年 [学期] 前期 [単位] 1	授業外対応	適宜対応
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 演習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語で自分の考え・文化を表現する</p> <p>【概要】コミュニケーションに不可欠な基礎英文法を身につけながら、自分の考え、気持ち、文化を相手にいかに深く伝えることができるかを学ぶ。英語4技能をバランスよく養う。</p> <p>【到達目標】自分の考えや気持ちを相手に誤解を与えることなく英語で伝えることができる。相手の考えや気持ちを英語で的確に理解することができる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Benedict Rowlett et al. 『Living Grammar』</p> <p>(2) なし</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 Profile (be動詞)</p> <p>第2回 Sports (自動詞・他動詞)</p> <p>第3回 Special Occasions (二重目的語をとる動詞)</p> <p>第4回 Families (人称代名詞)</p> <p>第5回 Japan Quiz (Wh-疑問文)</p> <p>第6回 Love & Marriage (過去形)</p> <p>第7回 Life History (現在完了形1)</p> <p>第8回 Leisure (現在完了形2)</p> <p>第9回 On Vacation (未来表現)</p> <p>第10回 Out and About (助動詞1)</p> <p>第11回 Rules (助動詞2)</p> <p>第12回 Folk Tales (接続詞)</p> <p>第13回 News & Events (受動態)</p> <p>第14回 Amazing Animals (副詞)</p> <p>第15回 Feelings (形容詞)</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。		
成績評価の方法	筆記試験(40%)、振り返りシート(30%)、授業での取り組み(30%)		

授業科目	英語 I (B)	担当者	James Murray ジェイムズ・マレー
	[履修年次] 1年 [学期] 前期 [単位] 1	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 演習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This is a course for practicing all skills in English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and Comprehension.</p> <p>【概要】 Lectures will teach vocabulary, phrases, and grammar that is used in everyday English conversation. Students will learn useful English for meeting people, describing things, giving directions, etc. Relaxed group discussions will give students the chance to use what they are learning, and to improve their confidence when communicating.</p> <p>【到達目標】 The aim of this course is to learn the basic skills of English used in everyday life, and to improve confidence in communicating and expressing oneself.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Helgesen, Wiltshier, Brown 「English Firsthand 1」 (Fifth Edition) Pearson, 2018 (ISBN: 9789813130227)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 Introduction / Conversation Activities</p> <p>第2回 Unit 1: Meeting People; Personal Information</p> <p>第3回 Unit 1: Using Simple Present; Hobbies and Interests</p> <p>第4回 Unit 2: Describing People; Talking about Family</p> <p>第5回 Unit 2: Using Simple Present (Be vs. Have); Appearance Adjectives</p> <p>第6回 Unit 3: Describing Routines and Schedules</p> <p>第7回 Unit 3: Using Adverbs of Frequency</p> <p>第8回 Test (1) and Conversation Activities</p> <p>第9回 Unit 4: Talking about Locations</p> <p>第10回 Unit 4: Using Prepositions</p> <p>第11回 Unit 5: Giving Directions</p> <p>第12回 Unit 5: Using To, At, From, On, In; Using Imperative Verbs</p> <p>第13回 Unit 6: Talking about Past Events and Activities</p> <p>第14回 Unit 6: Using Past Tense; Using Irregular Verbs</p> <p>第15回 Test (2) and Conversation Activities</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Class participation 授業での参加の度合 (25%), Tests 試験 (50%), Homework 宿題 (25%)		
実務経験について			

授業科目	英語Ⅱ (A)	担当者	米村 大輔
	[履修年次] 1年, 2年, 3年 [学期] 後期 [単位] 1	授業外対応	適宜対応
		[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】英語の基本4技能を養いつつ、現代の社会事情について考える。</p> <p>【概要】各回、現代の社会事情について特定のトピックを扱い、タスクを通して「読む」「聞く」「話す」「書く」技能をバランスよく身につける。また基礎英文法の定着も図る。</p> <p>【到達目標】大きく変化しつつある現代社会に対応しながら、日常の様々な場面で情報の理解、発信を英語で的確に行えるようになる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Jonathan Lynch 委文光太郎 著 『Trend Scope』</p> <p>(2) なし</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 Resellers-Good or Bad? (be動詞)</p> <p>第2回 About Earphones (一般動詞)</p> <p>第3回 Cash Registers (名詞・代名詞)</p> <p>第4回 Funny Happenings During Online Lessons (過去形)</p> <p>第5回 Loose-Fitting Clothing (進行形)</p> <p>第6回 Shrinkflation (Wh疑問文)</p> <p>第7回 Living in the Countryside (前置詞)</p> <p>第8回 Hanging Out in Streets and Parks (接続詞)</p> <p>第9回 Plant Burgers Are Popular in America (現在完了形)</p> <p>第10回 South Korean Culture Is popular Worldwide (未来表現)</p> <p>第11回 Doxing (助動詞)</p> <p>第12回 Fast Movies (受動態)</p> <p>第13回 Do We Need a "Dislike" Button on Social Media? (形容詞・副詞)</p> <p>第14回 Ramen Subscription (不定詞・動名詞)</p> <p>第15回 Which Video-Sharing App Is Best? (比較級・最上級)</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示する。		
成績評価の方法	筆記試験(40%)、 振り返りシート(30%)、 授業での取り組み(30%)		

授業科目	英語Ⅱ (B)	担当者	James Murray ジェイムズ・マレー
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1	授業外対応	授業終了後
		[必修/選択] 選択	[授業形態] 演習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 This is a course for practicing all skills in English: Reading, Writing, Listening, Speaking, and Comprehension.</p> <p>【概要】 Lectures will teach vocabulary, phrases, and grammar that is used in everyday English conversation. Students will learn useful English for jobs, making plans, shopping, giving instructions, etc. Relaxed group discussions will give students the chance to use what they are learning, and to improve their confidence when communicating.</p> <p>【到達目標】 The aim of this course is to learn the basic skills of English used in everyday life, and to improve confidence in communicating and expressing oneself.</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) Helgesen, Wiltshier, Brown 「English Firsthand 1」 (Fifth Edition) Pearson, 2018 (ISBN: 9789813130227)</p> <p>(2)</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 Unit 7: Talking about Types of jobs, Job qualifications, Job skills</p> <p>第2回 Unit 7: Using Enjoy, Like, Good at, Good with</p> <p>第3回 Unit 8: Talking about Entertainment; Making Invitations and Suggestions</p> <p>第4回 Unit 8: Using different verb patterns</p> <p>第5回 Quiz (1) and Discussion</p> <p>第6回 Unit 9: Talking about Future plans and Activities</p> <p>第7回 Unit 9: Using Future tense; Making predictions</p> <p>第8回 Unit 10: Clothing, Electronics, Personal items</p> <p>第9回 Unit 10: Using Comparatives and Intensifiers</p> <p>第10回 Quiz (2) and Discussion</p> <p>第11回 Unit 11: Giving instructions</p> <p>第12回 Unit 11: Using Sequence markers; Imperatives; Simple past</p> <p>第13回 Unit 12: Expressing opinions; Discussing music</p> <p>第14回 Unit 12: Using Simple past vs Present perfect</p> <p>第15回 Final Exam</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	Class participation 授業での参加の度合 (25%), Tests 試験 (50%), Homework 宿題 (25%)		
実務経験について			

授業科目	異文化コミュニケーション(英語)		担当者	英語担当教員全員	
	[履修年次]	1,2,3年いずれでも履修可	[学期]	通年	
	[単位]	2単位	[必修/選択]	選択	[授業形態] 実習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】生きた英語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジで研修を行う。授業は英語研修とハワイ文化研修から成り立ち、滞在期間中、基礎的な生活英語とハワイの文化習慣などについて直接体験する。</p> <p>2019年度の実績 日程：9月4日～9月17日 参加者：31名 研修費用：約38万円（授業料、往復航空運賃、宿泊費、平日の朝・昼食費等）</p> <p>【到達目標】英語運用能力を高めるだけでなく、ハワイの文化を学び、多文化が共生するハワイで「国際化」「グローバル化」の意味を自らの実体験を通して考え、理解する。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) ハワイ大学附属カピオラニ・コミュニティ・カレッジの担当教員が指示 (2)				
授業スケジュール	<p>事前指導：特設時間を利用して受講希望者に3～4回行う。ハワイ大学カピオラニ・コミュニティ・カレッジでの研修内容の説明、パスポートの取得方法など、海外渡航に伴うさまざまな必要事項の説明、課題（研修中の日記、研修後のレポート作成）の指示など。</p> <p>海外研修：9月を予定（約2週間）。現地の大学では、午前中に英語の授業、午後にはハワイ文化に関する授業（フラダンス）、KCC学生との異文化交流。その他、学外授業としてプランテーションヴィレッジ、イオラニ宮殿、真珠湾の見学。事後指導：帰国後に総括。</p>				
成績評価の方法	担当教員が課した課題（研修日誌・体験記）（50%）とハワイでの研修状況（50%）で評価する。				

授業科目	異文化コミュニケーション(中国語)		担当者	中国語担当教員全員	
	[履修年次]	1, 2, 3年いずれでも可	授業外対応	メールで事前連絡すること	
	[学期]	通年	[単位]	2	[必修/選択]
				選択	[授業形態] 実習
テーマ及び概要	<p>【テーマ】生きた中国語の運用能力を高める。</p> <p>【概要】南京農業大学国際教育学院で研修を行います。南京農業大学国際教育学院は、わたしたち県立短大と交流協定を結んでいる中国の大学です。この科目は、中国語研修と中国文化研修から成り立ちます。中国滞在期間中、基礎的な実用中国語を習得し、さらに、南京農業大学の学生と交流し、中国の文化習慣などについて直接体験します。中国語を用いて活動するため、あらかじめ「中国語Ⅰ」を受講または修得していることが履修条件になります。</p> <p>※2019年度中国研修の実績 ・日程：9月7日（土）～21日（土）[15日間] ・参加者：11名（日本語日本文学専攻3名、英語英文学専攻4名、経済専攻1名、経営情報専攻2名、第二部商経学科1名） ・費用：約16万円（ビザ、往復航空券、授業料、宿泊費、南京市内・市外の見学費用など）</p> <p>【到達目標】「国際化」の意味を自らの実体験を通して考え理解する。</p>				
(1)テキスト (2)参考文献	(1) 南京農業大学国際教育学院の担当教員が指示します。 (2)				
授業スケジュール	<p>事前指導 受講希望者に3～5回行います。 [1] 南京農業大学国際教育学院での研修内容の説明、 [2] 海外渡航に伴うさまざまな事柄の説明、 [3] 課題（レポート作成）の指示などです。</p> <p>海外研修 休業期間に約2週間実施予定です。現地の大学で中国語の授業を受けます。そのほか、さまざまな活動を通じて中国の生活・文化に関する体験をします。さらに南京農業大学外国語学院日本語専攻の学生と交流します。</p> <p>事後指導 帰国後に総括します。</p>				
授業外学習(予習・復習)	適宜指示				
成績評価の方法	担当教員が課した課題（50%）、および中国での学習成果（50%）を基に成績を算出します。				
実務経験について	なし				

授業科目	中国語 I (A)	担当者	陳 躍
	[履修年次] 1 年 [学期] 前期 [単位] 1	授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは授業中に告知)
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 演習
テーマ及び概要	【テーマ】楽しい中国語会話		
	【概要】中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90 分のうち、70 分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。 【到達目標】中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。前期はその前半部分の学習に当てる		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂 (2) ①関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳一日中往来』陳躍著 南日本新聞社		
授業スケジュール	第 1 回 我是上海人 第 2 回 我叫王平 第 3 回 这里是南京路 第 4 回 现在几点? 第 5 回 今天是星期几? 第 6 回 你家有几口人? 第 7 回 没关系 (映画) 第 8 回 香港的夏天热吗? (映画) 第 9 回 四川菜很好吃 (中間テスト) 第 10 回 我经常散步 第 11 回 牌价是多少? 第 12 回 汉语难不难? 第 13 回 我没吃蒜 第 14 回 我想去超市 第 15 回 まとめ		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	評価割合を定期試験 5 0%にする。残り 5 0%の評価は小テストとレポートにする		

授業科目	中国語 I (B)	担当者	楊 虹
	[履修年次] 1 年 [学期] 前期 [単位] 1	授業外対応	適宜対応 (要予約)
		[必修/選択]	選択 [授業形態] 演習
テーマ及び概要	【テーマ】 中国語に親しむ		
	【概要】 この授業では、中国語の発音を身につけ、ロールプレイ、ゲームなど様々な教室活動を通して、中国語の基本構文を楽しく学ぶ。さらに中国の音楽や映画などの映像、留学生との交流活動を通して中国の社会や文化にも触れる。 【到達目標】 中国語の発音記号 (ピンイン) の読み方と綴り方がわかり、簡単な日常あいさつ、自己紹介ができる。		
(1)テキスト (2)参考文献	(1) 阿部慎太郎・紅粉芳恵『4つの場面から学ぶミニマル中国語』朝日出版社 (2) 授業中に紹介する。		
授業スケジュール	第 1 回 オリエンテーション：授業の概要説明、中国語で自分の名前を言う練習 第 2 回 発音 (1)：単母音と声調の導入、練習 第 3 回 発音 (2)：複母音の導入、練習 第 4 回 発音 (3)：子音の導入、練習 第 5 回 発音 (4)：子音の練習、発音のまとめ 第 6 回 動詞是の使い方 第 7 回 好きなものの言い方、尋ね方。 第 8 回 天気の話、挨拶 第 9 回 相手をほめよう 第 10 回 スケジュールを言う 第 11 回 二つ以上の動詞からなる連動文 第 12 回 経験の「過」の導入、練習 第 13 回 留学生との交流：中国人留学生と中国語で話してみる 第 14 回 全体の復習 第 15 回 まとめ		
授業外学習(予習・復習)	適宜小テストを実施するので、毎回復習が必要である。		
成績評価の方法	授業への参加度、小テスト：50%、期末試験：50%		
実務経験について			

授業科目	中国語Ⅱ (A)	担当者	陳 躍
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1 [必修/選択] 選択 [授業形態] 演習	授業外対応	授業終了後及びメールによる (アドレスは授業中に告知)
テーマ及び概要	<p>【テーマ】楽しい中国語会話</p> <p>【概要】中国語会話の練習はスポーツだと考える。会話は頭より口を使い、説明を聞くより真似て練習する。言葉は形で文化がその中身である。文化を言葉と平行して学んでいくのが最速な方法だと考える。90分のうち、70分程度練習し、残りの時間は文化や事情を語る。中国の映画を数回鑑賞する。授業毎に感想を書いてもらい、参考にする。希望に応えるように、授業のあり方を随時修正する。</p> <p>【到達目標】中国語検定準四級。漢語水平考試HSK筆記1級程度。後期はその後半部分の学習に当てる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) テキスト①『楽しい中国』于国軍著 斯文堂</p> <p>(2) ①関西大学中国語教材研究会編「中国語検定徹底対策準四級」アルク ②『恋文の翻訳一日中往来』陳躍著 南日本新聞社</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 来我家玩吧 第2回 我打算去旅行 第3回 没看过, 听过 第4回 我能参加 第5回 我记一下 第6回 我们边走边谈 第7回 好像借给小李了 (中間テスト) 第8回 我不会打日文 (映画) 第9回 你知道号码吗? (映画) 第10回 什么都可以 第11回 被谁偷走了呢? 第12回 让你久等了 第13回 有没有单间? 第14回 我说得不好 第15回 まとめ</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜指示		
成績評価の方法	評価割合を定期試験50%にする。残り50%の評価は小テストとレポートにする		

授業科目	中国語Ⅱ (B)	担当者	楊 虹
	[履修年次] 1年 [学期] 後期 [単位] 1 [必修/選択] 選択 [授業形態] 演習	授業外対応	適宜対応 (要予約)
テーマ及び概要	<p>【テーマ】 中国語によるコミュニケーションに慣れる</p> <p>【概要】 この授業では、中国語Ⅰを履修した受講生を対象としている。前期の内容を復習しつつ、引き続き中国語の基本構文を導入し、中国語を聞いて、話す力を伸ばす。さらに、中国の音楽や映画などの映像を通して、中国の社会、文化にも触れる。</p> <p>【到達目標】 学習を進める上での基礎的知識を有し、中国語による家族構成の紹介や、簡単な買い物ができる。</p>		
(1)テキスト (2)参考文献	<p>(1) 阿部慎太郎・紅粉芳恵『4つの場面から学ぶミニマル中国語』朝日出版社</p> <p>(2) 授業中に紹介する。</p>		
授業スケジュール	<p>第1回 オリエンテーション：授業の概要説明、前期の復習 第2回 願望「想」の導入、練習 第3回 動詞「有」の導入、練習 第4回 「有」と「在」の応用練習 第5回 できるの「会」の導入、練習 第6回 買い物に関する表現① 第7回 買い物に関する表現② 第8回 これまでの内容の復習 第9回 道案内と前置詞の「在」の導入、練習 第10回 時間の量の言い方① 第11回 時間の量の言い方② 第12回 時間の量の言い方③ 第13回 起点や終点を表す前置詞の導入と練習 第14回 全体の復習 第15回 まとめ</p>		
授業外学習(予習・復習)	適宜小テストを実施するので、毎回復習が必要である。		
成績評価の方法	授業への参加度、小テスト：50%、口頭試験：50%		
実務経験について			